

欠損歯列補綴咬合学講座
(Department of Removable Prosthodontics and Occlusion)

教育研究原著論文

1) 印刷公表

1. Fujio M, Komasa S, Nishizaki H, Sekino T*, Okazaki J. Biocompatibility of titanium surface nanostructures following chemical processing and heat treatment. *Frontiers Nanosci Nanotechnol* 2017 ; 3(1) : doi : 10.15761/FNN.1000143 (10 pages). (科研費 基盤研究 (C) 15K11185, 若手研究 (B) 16K20524)
2. Nishikawa H^{*2}, Saito A^{*2}, Miyake A, Tashiro Y, Hashimoto Y. Systematic relationship between Sr content and the lattice constants in Sr substituted hydroxyapatite thin films. *J Crystall Process Tech* 2017 ; 7 : doi : 10.4236/jcpt.2017.71001 (10 pages).
3. Su Y, Komasa S, Li P, Nishizaki M, Chen L, Terada C, Yoshimine S, Nishizaki H, Okazaki J. Synergistic effect of nanotopography and bioactive ions on peri-implant bone response. *Int J Nanomedicine* 2017 ; (12) : 925-934. (科研費 若手研究 (B) 16K20524)
4. Yamawaki I, Taguchi Y, Komasa S, Tanaka A, Umeda M. Effects of glucose concentration on osteogenic differentiation of type II diabetes mellitus rat bone marrow-derived mesenchymal stromal cells on a nano-scale modified titanium. *J Periodontal Res* 2017 ; 52(4) : 761-771. (科研費 基盤研究 (C) 16K11617, 若手研究 (B) 26861664, 16K20524, 研究活動スタート支援 15H06742)
5. Nishizaki M, Komasa S, Taguchi Y, Nishizaki H, Okazaki J. Bioactivity of NANOZR induced by alkali treatment. *Int J Mol Sci* 2017 ; 18(4) : 780 (14 pages). (科研費 若手研究 (B) 16K20524)
6. Chen L, Shen R^{*3}, Komasa S, Xue Y^{*4}, Jin B^{*4}, Hou Y^{*4}, Okazaki J, Gao J^{*4,5}. Drug-loadable calcium alginate hydrogel system for use in oral bone tissue repair. *Int J Mol Sci* 2017 ; 18(5) : 989 (17 pages).
7. Zhang H, Komasa S, Mashimo C, Sekino T*, Okazaki J. Effect of ultraviolet treatment on bacterial attachment and osteogenic activity to alkali-treated titanium with nanonetwork structures. *Int J Nanomedicine* 2017 ; 12 : 4633-4646. (科研費 基盤研究 (C) 15K11185, 若手研究 (B) 16K20524)
8. Kusumoto T, Yin D, Zhang H, Chen L, Nishizaki H, Komasa Y, Okazaki J, Komasa S. Evaluation of the osteointegration of a novel alkali-treated implant system *in vivo*. *J Hard Tissue Biol* 2017 ; 26(4) : 355-360. (科研費 基盤研究 (C) 15K11185, 若手研究 (B) 16K20524)
9. Nakai K, Maeda T, Hong G^{*6}, Kurogi T^{*7}, Okazaki J. Effects of herbal medicine components on the physical properties of trial denture adhesives. *Dent J (Majalah Kedokteran Gigi)* 2017 ; 50(4) : 171-177.

10. Komasa S, Nishizaki M, Kusumoto T, Terada C, Yin D, Kawamoto A, Yamamoto S, Yoshimine S, Nishizaki H, Shimizu H^{*8}, Okazaki J, Kawazoe T. Osteogenesis-related gene expression on alkali-modified NANOZR and titanium surfaces with nanonetwork structures. *J Bio-Integ* 2017 ; 7(1) : 87-94. (科研費 若手研究 (B) 16K20524)

2) 学会発表

1. 中井健一郎, 前田武志, 洪 光^{*5}, 黒木唯文^{*7}, 村田比呂司^{*7}, 西崎 宏, 岡崎定司. 生薬成分配合が試作義歯安定剤の物性に及ぼす影響. 第9回日本義歯ケア学会学術大会 2017. 2. 11 鹿児島市.
2. Zhang H, Komasa S, Mashimo C, Su Y, Wang PL, Kusumoto T, Zhao W^{*4}, Nishizaki H, Okazaki J. Antibacterial effect of silver nanoparticles coated titanium nanosheet. 95th General Session & Exhibition of the IADR 2017. 3. 24 San Francisco, California, USA.
3. 藤尾美穂, 小正 聡, 西崎 宏, 関野 徹^{*4}, 岡崎定司. 化学合成法と加熱処理を施したナノ構造析出純チタン金属表面の生体適合性. 日本補綴歯科学会第126回学術大会 2017. 7. 1 横浜市.
4. 寺田知里, 小正 聡, 楠本哲次, 西崎真理子, 蘇 英敏, 張 泓灝, 陳 路沅, 西崎 宏, 岡崎定司. ナノ構造析出純チタン金属へのタンパク質のコーティングが硬組織分化誘導能に与える影響. 日本補綴歯科学会第126回学術大会 2017. 7. 1 横浜市.
5. 吉岡紀代子, 小正 聡, 田口洋一郎, 楠本哲次, 吉村計宣, 仲田重樹, 西崎 宏, 岡崎定司. 純チタン金属表面におけるアルカリ処理の濃度変化が遺伝子発現に与える影響. 日本補綴歯科学会第126回学術大会 2017. 7. 1 横浜市.
6. 中澤修一, 小正 聡, 田代悠一郎, 三宅晃子, 高橋一也, 西崎 宏, 小正 裕, 岡崎定司. PMMA 成膜 QCM センサを利用した純粋過ギ酸がタンパク質の脱着に与える影響の検討. 日本補綴歯科学会第126回学術大会 2017. 7. 1 横浜市.
7. 岡島裕梨, 小正 聡, 藤尾美穂, 西崎 宏, 岡崎定司. レジン床義歯と金属床義歯との違いについての患者理解度を各種問診法から評価する. 日本補綴歯科学会第126回学術大会 2017. 7. 1 横浜市.
8. 陳 路沅, 小正 聡, 楠本哲次, 寺田知里, 西崎真理子, 張 泓灝, 西崎 宏, 岡崎定司. タンパク質コーティングした TNS 析出純チタン金属が細胞の初期接着能に与える影響. 日本補綴歯科学会第126回学術大会 2017. 7. 2 横浜市.
9. 小正 聡, 西崎 宏, 岡崎定司. 臨床研修歯科医師の基礎臨床能力向上を形成的評価により図った症例. 第36回日本歯科医学教育学会総会および学術大会 2017. 7. 29 松本市.
10. 張 泓灝, 小正 聡, 真下千穂, 関野 徹^{*4}, 岡崎定司. アルカリ処理によりナノ構造制御された純チタン金属表面への UV 処理が細菌の接着および硬組織分化誘導に与える影響について. 第47回日本口腔インプラント学会学術大会 2017. 9. 23 仙台市.

11. 小正 聡, 楠本哲次, 張 泓灝, 陳 路沅, 岡崎定司, 西崎 宏, 小正 裕. 歯根膜細胞がタンパク質をコーティングしたナノ構造析出純チタン金属のインプラント材料へ与える影響について. 第47回日本口腔インプラント学会学術大会 2017. 9. 23 仙台市.
12. 楠本哲次, 小正 聡, 寺田知里, 陳 路沅, 西崎 宏, 田口洋一郎, 岡崎定司, 小正 裕. タンパク質をコーティングしたナノ構造析出純チタン金属の生体適合性について. 第47回日本口腔インプラント学会学術大会 2017. 9. 23 仙台市.
13. 原弓加里, 小正 聡, 陳 路沅, 西崎 宏, 岡崎定司. 純チタン金属表面へのアルカリ処理がラット歯根膜細胞に与える影響について. 第47回日本口腔インプラント学会学術大会 2017. 9. 23 仙台市.
14. 寺田知里, 小正 聡, 楠本哲次, 陳 路沅, 尹 徳栄, 波床真依, 西崎 宏, 岡崎定司. アメロジエニンコーティングナノ構造析出純チタン金属板が骨髄細胞および歯根膜細胞の初期接着に与える影響について. 第47回日本口腔インプラント学会学術大会 2017. 9. 23 仙台市.
15. 陳 路沅, 小正 聡, 張 泓灝, 寺田知里, 尹 徳栄, 波床真依, 西崎 宏, 岡崎定司. ラクトフェリンのナノ構造析出純チタン金属表面へのコーティングがラット歯根膜細胞に与える影響について. 第47回日本口腔インプラント学会学術大会 2017. 9. 23 仙台市.
16. 西崎真理子, 小正 聡, 田口洋一郎, 西崎 宏, 岡崎定司. アルカリ処理したナノジルコニアの生体活性. 第47回日本口腔インプラント学会学術大会 2017. 9. 24 仙台市.
17. 小正 聡. 自己再生足場材料としてのチタニアナノシート構造の応用. 第15回日本再生歯科医学会大会 2017. 10. 21 大阪市.
18. 田代悠一郎, 小正 聡, 三宅晃子, 西崎 宏, 岡崎定司. QCM センサを利用したチタニアナノシートの吸着挙動の解析. 第15回日本再生歯科医学会大会 2017. 10. 21 大阪市.
19. 原弓加里, 小正 聡, 吉峰茂樹, 西崎 宏, 岡崎定司. 純チタン金属表面上のナノ構造がラット歯根膜細胞の挙動に与える影響. 第15回日本再生歯科医学会大会 2017. 10. 21 大阪市.
20. 寺田知里, 小正 聡, 楠本哲次, 陳 路沅, 波床真依, 尹 徳栄, 西崎 宏, 岡崎定司. アメロジエニンコーティングナノ構造析出純チタン金属がインプラント埋入周囲歯周組織に与える影響. 第15回日本再生歯科医学会大会 2017. 10. 21 大阪市.
21. 波床真依, 小正 聡, 張 泓灝, 西崎真理子, 寺田知里, 陳 路沅, 尹 徳栄, 西崎 宏, 岡崎定司. 生体適合性の向上を目指した新規インプラント材料の創製. 第15回日本再生歯科医学会大会 2017. 10. 21 大阪市.
22. Yin D, Komasa S, Zhang H, Nishizaki M, Terada C, Chen L, Hatoko M, Nishizaki H, Okazaki J. Evaluation of the osteointegration of a novel alkali-treated implant system in vivo. 第15回日本再生歯科医学会大会 2017. 10. 21 大阪市.

臨床症例報告

1) 学会発表

1. 武田智香子, 小正 聡, 松田謙一*⁸, 西崎 宏, 岡崎定司. 新規義歯製作法により上下顎全部床義歯製作を行った一例. 日本補綴歯科学会第126回学術大会 2017. 7. 2 横浜市.

総説

1. 三宅晃子, 小正 聡, 小正 裕. 在宅医療用の新規義歯洗浄剤開発に向けて - 義歯表面を模倣したバイオセンサを用いた汚れの付着に関する検討 -. 歯科医学 2017; 80(2): 55-66.

著書

1. 小正 聡, 岡崎定司. 共著. 新訂版 知りたいことがすぐわかる高齢者歯科医療 - 歯科医療につながる医学知識 -. 京都: 永末書店 2017: 74-75.

* 大阪大学産業科学研究所

*2 近畿大学生物理工学部医用工学科

*3 廈門大学中山病院

*4 南方医科大学

*5 広州医科大学

*6 東北大学歯学部歯学イノベーションリエゾンセンター

*7 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯科補綴学分野

*8 大阪大学